

～ 旭橋みずほ通 元気な個店づくり事業 ～

設立50周年を機に、「七夕まつり」、「イルミネーション」、「冬まつり」などの季節ごとのイベントを開催。学生と連携するなど地域とのつながりを意識し充実・発展させたことから、計画以上の来街者の増加や空き店舗の減少につながることができている。

所在地：北海道旭川市旭町2条3
 TEL：0166-51-2389 FAX：0166-53-9185
 URL：<http://www.a-mizu.com>
 組合員数：56名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

J R 旭川駅から稚内に向かう国道40号線が石狩川を越えた旭橋を起点とし、約1kmの沿道に沿って形成された商店街(通りは戦後、みずほ通りと呼ばれている)。地域住民の高齢化による売上の減少等が課題となっており、これまでも年間を通じた継続的なイベントや地域と協働した取組みを実施してきた。平成26年度は組合設立50周年でもあり、学生ボランティアとの連携を行う等これまで培った地域とのつながりをより発展させ、商店街に人を呼び込み、最大の目的である「個店の利用」につながることを目指した。

実施した事業の概要

①七夕まつり

商店街の青年部を中心に、「ローソクだーせ」(当地区の伝統の子供イベント)を通して、地域の子供たちとともに、各家庭を訪問する際に交通安全を教え、暮れ時の安全対策に寄与した。また、独居老人宅の参加を積極的に募集し、子供と高齢者のコミュニケーションの場をつくることで、地域のつながりを誘発した。

②イルミネーション

日の短い冬季間にイルミネーションを設置することで、暗い通りを少しでも明るくし、通行人の防犯と商店街のPRを狙った。点灯式では、開催中のスタンプラリーのPRを行い、スタンプ用紙を配布した。また、点灯式参加者に対し一口の応募で二口分の応募となる参加特典を付与した。

③子供たちと冬まつり

大学生ボランティアサークルと連携し、当日集まった38名の子供たちとかまくらを制作。昼食は作ったかまくらに入って豚汁とおにぎりを食べてもらった後、順番にバナナボートに乗ってもらい、グラウンドを走って楽しんでいただいた。

④みずほ市の開催

地域ニーズへの対応と個店の売上増加を図るため、商店街組合店が合同で売出しを開催し、個店あつての商店街として販促イベントを仕掛けた。同イベントはスタンプラリーと連動させることで商店街における回遊性を高めた。



成果と成功の要因

従来から実施しているイベントに、学生等との連携で新しい趣向を凝らしたことが地元住民の共感を得たものと思われる。結果として、商店街の認知度が上がり、来街者の増加につながった。また、個店経営者の経営意欲の刺激につながったという声も聞かれた。

今回の事業を成功させることができた要因としては、商店街の若手や後継者が率先して事業に取り組んでくれたことと、事業の実施に当たって地域組織、行政、学校等の地元関係団体と連携して取り組んだことが大きかったと思われる。

今後の取り組み

今後も地域組織、行政、学校等との連携を一層強固にした体制を構築し、より長く地域に根差した事業の継続に努めていく予定である。

特にスタンプラリーでは、今後、繁盛期が重なる店舗をグルーピングして開催することでさらに効果的な販売促進効果を期待できるものと思われるため、年間に振り分けて実施することで恒常的な来街者の増加を図り、個店の売上増加につなげていく予定である。